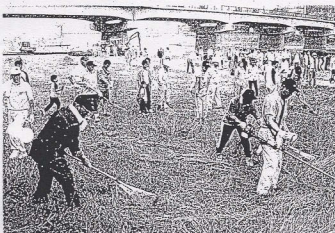


旭川-日本一美しく

「育てる会」法人化後初のクリーン作戦

1100人ごみ拾い、草刈り

旭川の美化活動に取り組むNPO「民間非営利団体」法人「旭川を日本一美しい川に育てる会」理事長・岡崎彬尚(山陽2会事務所)は十日、岡山市の岡川流域で法人化後初の「旭川清流化クリーン作戦」を行い、経済団体の町内会などから参加した約千五百人が、ごみ拾いなどの清掃活動を行った。



清掃に勤む「旭川清流化クリーン作戦」の参加者＝岡山市吉原町、旭川岡川敷

国土交通省山前川工事 運搬し、住民参加で川の「より山内川内初の「旭川ア

事業の一環。

クリーン作戦は、岡市三野から岡口までの流域十二、十六カ所を実施。このうち岡市吉原町の岡川敷には地元企業、町内会、老人クラブなどから約五百人が集まり、岡崎理事長が

「みんなが旭川をきれいに人も、草刈り活動は草た。みんなが旭川をきれいにしたい」という気持ちを持って「育てる会」を立ち上げた。作業を開始した。父親に参加した伊藤小五郎(岡崎彬尚)は「魚釣り好きなので、川はきれいな方がいい。これからは清掃活動に参加したい」と話している。

「育てる会」は一九九三年、民間非営利団体が呼びかけ発足した。流域の二十市町や町内会、住友グループなど、二百六十団体がある。毎年、一斉清掃など文化活動を開催。今年四月、NPO法人格を取得した。

